

東北生産性本部

平成23年度労使セミナー開催



第一部 コミュニケーション能力の向上

<富士社会教育センター 武田仁 氏>



第二部 リスクコミュニケーションの意義

<リテラジャパン代表取締役 西澤真理子 氏>

10月26日(水)13時半～16時45分、仙台市内の『ハーネル仙台・2階会議室』に於いて、58名が参加し、平成23年度労使セミナーを開催した。今回のテーマは、コミュニケーションであり、あらゆる領域で情報化が進展し、コミュニケーションツールが大きく様変わりをしている中、人との関わりに欠かすことが出来ないコミュニケーションを取り上げ、『コミュニケーション能力の向上』や、震災以来、特に放射線に関して多く耳にするようになった『リスクコミュニケーションの意義』について、講演を頂いた。

参加者からは、『コミュニケーションの意味について、改めて、気付かされた。自分の年代を中心に考えるのではなく、色々な世代で構成されているので、相手の立場になって、自分から進んで打ち解けるために努力することが必要だと感じた。』『リスクコミュニケーションは初めて聞く内容で、今後我々が取り組んでいかなければならない考え方で、非常に満足した。』等、アンケート結果から9割を超える人が満足と答えたセミナーとなった。

また、職場の共通したテーマは、要望の多い順から、安全と健康、ワークライフバランスの推進、能力開発と評価の在り方、職場の産業政策と続いた。昨年度は『安全と健康』、今年度は『コミュニケーション』、来年度は要望も勘案しながら、皆さんが満足するような労使共通する職場のテーマを取り上げて開催していきたい。



< 仙台シンポジウム10月例会 >

9月29日(木)13時半～15時、
仙台商工会議所7階会議室、早稲田大
学大学院教授・川本裕子氏、テーマ『今
後の日本経済の課題、グローバル経済
の中で』参加人員95名

* 川本講師のご厚意で、ご本人の著書
『親子読書のすすめ』75部、当本部
へ寄贈。

第二回例会・労使定例政策研究会

10月5日(水)14時半～16
時、東北電労会館、企業行動研究セ
ンター・菱山隆二氏、テーマ危機管
理『お客さまや地域との信頼関係を
如何に築くか』参加者40名。

* 菱山講師は、三菱石油(株)で、
人事、営業、広報、海外ビジネス、
原油開発、経営など、幅広く従事。



第一義(～リスクコミュニケーションとは信頼なり～)

先日の労使セミナーはリスクコミュニケーションがテーマであった。あまり聞きなれない言葉であるが、最近注目されている。人は危ない情報に反応しやすいという。リスクを伝えることで不安は高まるが、敢えてそれを伝えることで、良く話してくれたという信頼が高まり、伝え手と受け手の新たな展開が期待できる。この世には絶対安全はないが、自ら望んで行う場合を除き、特に消費者は絶対安全を求める。零か一か、白か黒か、世の中はそう単純ではない。しかし、生命に関わる事となると、誰しもがそういう心境になるのは必然かもしれない。また、安全(客観的)と安心(主観的)は、海外では別物と理解されているが、日本では同一に捉えている。リスクとハザードも混乱して、リスクイコール危険と思いがちであるが、好ましくないことが起こる可能性、危険の度合いである。頭の整理は出来できたが、ともすれば鵜呑みにする、洗脳されがちな、毎日のように目と耳から入るマスコミまでは整理できない。リテラシー(情報を読み解く力)が試される。(記S・S)